

TNC
通信

2020
3月号

【子年の言葉】

鼠壁を忘る、壁鼠を忘れず一傷つけた側はそのことを忘れてしまいが、傷つけられた側は恨みをいつまでも忘れない、という譬え。貸借も同じで気をつけないといけな

協会で支援の募金！！

—3月10日迄受け付け—

(公社)日本中国友好協会(丹羽宇一郎会長)では今回の中国・湖北省武漢市を中心とする新型コロナウイルスによる肺炎の感染者と死者の拡大、更に必要物資の不足も伝えられており、こうした状況を鑑みて下記の通り、義援金の募金活動を行っております。当会通信の発行日の関係で締め切り日が迫っておりますが、ご協力よろしくお願いいたします。

<記>

1. 実施期間は2020年3月10日まで。
2. 集まりました義援金は、協会本部より中国大使館にお渡しし、必要物資等の購入に充てていただきます。
3. 郵便振替は「口座番号00110-6-762769」 口座名義「公益社団法人日本中国友好協会義援金係」。
4. 県協会及び富谷市日中としてまとめる事はせず、各自の送金とさせていただきます。機関紙「日本と中国」に氏名掲載を予定。



—富谷日中の主催— 「中国語講座」で学びませんか！

東京オリンピックに間にかどうかは分かりませんが、中国語・会話を学んで世界観を広げ、若返りに役立てませんか。入門から初級レベルの学習になります。いつでも入会OKです。まずは見学から如何。
◎会場…富ヶ丘公民館会議室
◎日時…毎週土曜日 13時半～15時半
◎会費…年会費 2000 円、受講・教材費は月 2000 円
◎講師…横山弥生副会長、洪洋理事

shu ben

『呉漢』(上・下)

(宮城谷昌光著、中公文庫、各 814 円)

タイトルの“呉漢”は人名であるが、時代背景は主に後漢(紀元 1 世紀)である。後漢創始の劉秀＝光武帝のために天下平定に働く軍のトップ・大司馬として支えたのが呉漢であり、その物語である。

呉漢は貧農の生まれであり、また農場の雇用人として「土を見つめ黙々と働く」人であった。王莽(おうもう)が新(しん)の国を建て乱れる中で、特に師とも思う祇登(ぎとう)等、呉漢の天与の才を見抜き支えた人々により、小さな行政の官となり、劉秀と共に戦う最大の協力者となる。「時と人にめぐまれただけであろうよ。そうでなければ、路傍の石でおわっていた」と。

本書は作家生活 30 周年記念である。難しい漢字の多さは変わらないが、人間を見つめ描き切る作品は、それ故に至言に満ちており、ストーリーだけではない読書の楽しみである。

なお光武帝を主題にした著者の作品に『草原の風』(上・中・下)があり詳しい。(M)



宮城華僑華人連合会でも医療機関に送る！



TVニュースでも紹介されました

宮華連(陳強・会長)でも医療関係備品の不足の報道を受けて、関係者の呼びかけ 1 月末に募金を開始し 2 月末まで実施し、医療器具や備品を現地の医療機関に送りました。

「県民の翼」は中止に！

2 月号で 4 月 21 日からの「県民の翼・大連・撫順・瀋陽」のツアー募集を掲載いたしましたでしたが、WHO や日本政府の判断を踏まえ、2 月 1 日に県協会として再検討し、今回の企画を断念することとなりました。楽しみにされた方も多いかと思いますが、ご理解をよろしくお願いいたします。

臘梅(ろうばい)は慈しみ

黄色も鮮やかな臘梅の原産は中国、唐梅(からうめ)ともいう。花言葉は“ゆかしさ”“慈しみ”。花の少ない時期にそっと咲かせる事が由来。『本草綱目』によれば、半透明でにぶい艶のある花卉が蠟細工のようであり、かつ臘月(旧暦 12 月)に咲くことにちなむという。写真は七ツ森湖(大和町宮床字高山)側のレストラン「臘梅の咲く頃」の庭先です。

